

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	マイ探究コース			訪問国	カナダ
学校名	浜松学芸高校	氏名	松井 慶	学年	2

高2の夏に2ヶ月間カナダに留学しました。僕の探究テーマは「浜松をスポーツのしやすい街にしたい!」です。そこで「カナダのスポーツ政策から学ぶ、スポーツのしやすいまちづくりとは?」という問いを立てて探究しました。このテーマと問いの設定理由は、浜松では、公園はあってもボール遊びができなかったり、体育館は一般開放が少なく、使える機会があまりなかったりと、浜松ではスポーツのしやすい場所が少ないと感じていました。そこで、スポーツ政策などで先進的な取り組みを行っているカナダに行ってスポーツをしてみたいと思ったからです。具体的に行ったことは2つあります。

1つ目は、公園のバスケットコートで現地の人とバスケをしたり、地域の体育館の一般開放に参加したりすることで、カナダでのスポーツ事情について体験することです。カナダには、公園やバスケットコートが街中にあり、いろんなところにスポーツをしている人がいました。



また、一般解放については、渡航前にトロントのホームページで見つけたので、放課後などにそれを活用して、一般解放に参加しました。行った時に一番感じたのは、参加のしやすさです。場所が多いことに加えて、現地の人がみんな優しく、「一緒にやろうぜ」と声をかけてくれることもありました。インタビュー内容は、週に何日、何時間スポーツをするか、主になんのスポーツをするか、や、トロントのスポーツ事情を1~5で表すと何ですか?とその長所、短所などです。インタビューの結果は週に4日以上スポーツをする人が多い(25件中19件)・バスケットコートでインタビューすることが多すぎたのか、バスケをする人が多かった(25件中16件)・それ以外ではカナダの国技でもあるアイスホッケーを冬にする人が多かった(25件中13件)などでした。最初は、英語で話しかけるのが怖かったけど、声をかけたら、快く受け入れてくれてとてもインタビューしやすかったです。

考察

僕の考えるカナダのスポーツのしやすさの秘訣は一般解放の使い方です。地域ごとにコミュニティセンターが、設置されていて、一般開放は、曜日、時間、アクティビティ(競技)、年齢ごとに使える時間が決まっていて、その時間内なら無料で使用することができ、そのスケジュールはHPで確認できました。また、体育館だけでなく、テニスコート、小さな

プールなども同じ施設に設備されていました。

浜松市をスポーツのしやすい街にするために僕が考えたこと

浜松市とカナダでは、スポーツのできる居場所の数に大きな違いがありました。居場所を増やすためにできることとして、一般開放の質の改善をすることで誰もがスポーツを楽しむことのできる浜松ができると思いました。一般開放の質の改善をすることで地域の施設の利用者増加とスポーツのできる居場所の需要が上がり、新たな施設の設置も容易になっていくと考えました。また、この考察を広めていくことが大切だと思いました。具体的には、帰国後、「浜松市総合計画基本計画(案)」のパブリックコメントの提出をしたり、市議会議員と話せるイベントに参加したり、学校の部活で発表したりしました。これからもさまざまなイベントに参加して、広めていきたいです。

最後に・・・

この留学は、自分を変えとても大きな経験になりました。僕は、留学前はいまいち将来やりたいことが決まっていなくて、のんびり過ごしていましたが、留学を通し、普段とは全く違う環境で過ごしたことで、世界の広さを思いっきり感じられました。また異国で2ヶ月間過ごした経験が、新しい興味や関心を教えてくれて、大学ではあんなことしたいな、という希望につながっています。この留学での経験を活かして、大学でも留学したいです！！

